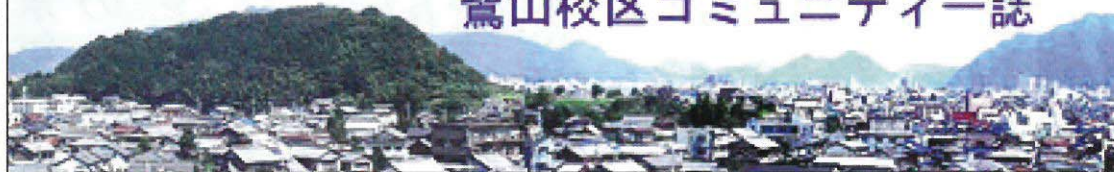


ふれあい鷺山

鷺山校区コミュニティー誌



新成人一二六人を祝す 校区成人式和やかに開催

1月10日成人の日、鷺山校区でも成人式が行われました。

長良川国際会議場4階大会議室において鷺山自治会連合会主催の「鷺山校区成人を祝い励ます会」が10時から開催



されました。

今年は昭和59年度生まれの人たちで、校区で一二六人が出席しました。

乾連合会長をはじめ来賓の祝辞につづき、「ふるさと鷺山」と題し、スライドで鷺山の歴史、自治会活動が紹介されました。スライドの後半では、新成人の小学六年の頃の全員

の顔写真が映し出され、幼き日の姿に歓声や笑いが沸きあがりました。

式典後、記念写真撮影、出席いただいた恩師との懇親会が行われました。



「町と田舎が半々なところがいい」 新成人アンケート 鷺山は住みやすい

成人式出席者に、連合会のご協力によりアンケートを行いました。女性34名、男性20名、不明4名、計58名の新成人から回答をいただきました。有難うございました。

新成人の23%(女)〜25%(男)の人は就職、76%(女)〜65%(男)の人が大学・専門学校の学生です。25%の人が県外で生活、65%の人が現在も鷺山に在住。

鷺山のイメージを尋ねたところ、男女とも85%の人が、「自然がいっぱい」、「のどか」

「田舎っぽい」、「町と田舎が半々なところがいい」と、地元鷺山が大好きなようです。「住みづらい」人は2人でした。

では、将来は?と問えば、男性ほど県外(50%)、市外(25%)で活躍したいようで、女性はほぼ逆の傾向です。最後に自治会活動について

おしらせ 鷺山自治会連合会主催 行事予定

●ふれあいサロン

校区各地区毎に2月中旬から3月初旬にかけて開催予定です。詳細は社協各地区担当者等よりお知らせします。

●鷺山公園観桜会

3月下旬〜4月上旬、桜の開花傾向をみながら5日にちを決定します。3月半ばまでには詳細をお知らせします。

は、防災訓練、清掃には25%位が参加したことがあるが、知らなかったとの意見も多かった。自治会へは55%(女)〜45%(男)が参加するとしています。若人が入りづらい雰囲気も感じています。消水防隊には、15〜17%が参加してもいい、47%(女)〜60%(男)が時間が合えば参加すると、頼もしい限りです。

校区で永年貢献、支援いただいた方々 校区の受賞者の皆さん(表彰日平成16年月日順・敬称略)

- 岐阜県水防表彰(2・17)
 <岐阜県紅功労賞> 佐藤 富昭
 ○岐阜市少年消防クラブ運営協議会長賞表彰
 <指導者表彰> 山田 護 (4・27)
- 老人クラブ活動功労賞(5・21)
 川嶋隆文、山田勲太郎、山田照行、堀 幾枝、早川かず子(市老連会長より)
- 老人クラブ活動団体表彰(5・21)
 正木第四長寿会(県老連会長より)
- 水防団功労者表彰(5・30)
 <市長表彰>
 大木啓司、永井 裕、岩佐正行
 <市長功績賞>
 関谷 幸雄、伊藤博文、後藤 正敏
- 岐阜市水防協会功労賞
 北川仁美、堀博和、神山 鎮行、高木 勝美
- 市政功労者表彰式(7・1)
 <社会福祉功労> 大竹 富子(民生委員)
 ○法務大臣表彰(保護司活動)(9・14)
 箕浦 俊夫
- 住民自治推進大会(10・1)
 <自治会長感謝状> (平成15年度退任者)
 下平 逸男、下平 政野、森崎 憲司
 <市民参画賞>
 中村 亮 (老人健康増進)
 福田 賢治 (親子三世代ふれあい推進)
 森田 好昌、森田 重信、堀 幾枝(環境美化)
 武藤 智勇 (地域ボランティア)
 鎌倉 幸夫、寺本 明(交通安全推進)
 林 勝己 (体育振興)
- 日本赤十字社功労表彰(10・1)
 <感謝状> 森瀬 重明
- 鷺山自治会連合会長表彰(10・10)
 自治会長(五年以上在任)退任者
 下平 逸男、森崎 憲司

- 各種団团长(三年以上在任) 退任者 岩佐 哲司
- 岐阜北地区防犯功労者表彰(10・15) 森田 好靖
- 岐阜県公民館連合会表彰(10・18) 中野 昭雄
- 明るい選挙推進協議会(10・25)
 永年勤続(15年) 表彰 森崎 初子、久世 啓一
- 中部地方更生保護委員長表彰(保護司活動)
 山田勲太郎 (10・28)
- 中部地方保護司連盟会長表彰(保護司活動)
 嶋崎 達美 (10・28)
- 岐阜県保護司連合会長表彰(保護司活動)
 森田 比沙子、岩佐 千春 (10・28)
- 岐阜県知事表彰 消防(12・2)
 <功労賞> 川嶋 明
- 岐阜県消防協会長表彰(12・2)
 <功績賞> 山田 護
- 女性防火クラブ優良章(12・2) 森田 比沙子
- 鷺山民生児童委員協議会表彰(12・21)
 <厚生大臣及び岐阜市長賞>
 大竹 富子、伊藤 佐紀子(永年勤続15年以上)
- 岐阜市スポーツ少年団本部表彰
 <優秀指導者表彰> 島澤 司(バスケットボール)
 <優秀団員> 藤井 美沙(空手)
- 鷺山母子福祉会表彰
 <永年勤続感謝状> 北川 夏子
- 岐阜市長表彰 消防 (17・1・16)
 <表彰徽章> 住田 正人、神谷 康裕
 <功績賞> 犬飼 和行、堀 光博
 <消防団優秀家族賞>
 犬飼 志保、堀 富子、住田百合恵、橋口多衣子
- 岐阜市消防協会長表彰(17・1・16)
 <勤労章五年> 住田 正人、堀 光博
- 岐阜交通安全推進協議会表彰(17・1・27)
 鎌倉 幸夫、寺本 明、坂口 和宏、橋本 富子、森田 敏昭、平野 初美、森崎 憲司、江崎 勇、渡辺 俊文

北消防団鷺山分団が 年末夜警実施

火事、犯罪が起きやすい年末に市民に注意を呼びかける恒例の「年末夜警」が年末26日から31日の毎日深夜から早朝にかけて行われました。28日夜には細江岐阜市長、長谷部北警察署長等の巡視があり北消防団鷺山分団(団員30名)を代表して川嶋明分団長が「異常ありません！」と力強く現況報告をいたしました。



12月28日夜 細江岐阜市長らが北消防団鷺山分団を巡視

鷺山分団は「校区住民の安全を守る、地域に密着した消防団」をモットーに突発的な大災害にも対応できるように訓練を積み重ねています。仕事

美化看板を調査・整備

美化推進協鷺山支部

本誌前号で紹介しました美化推進協議会鷺山支部では、美化推進PR用看板等の実態調査を各自治会長さんにお願いたしました。結果、現状でよいが大半の一四八基、修理が必要が十一基、取替え要すが十四基、新設希望が二十三基でした。後日、修理二十三基、取替え八基、二十九基を新設しました。



鷺山の土地区画整理が進んでいます 新しい道路、新しい街ができます みんなで考えよう新しい地名

現在鷺山校区内で、四つの土地区画整理事業が進んでいます。鷺山小学校北の「正木北」の南を通り、伊自良川まで延長し、伊自良川に橋を架ける計画です。



は昨日と環状線が拡幅されます。その他、生活道路が図のようになり、道路が整備されつつあります。正木地区が平成20年3月、正木西部地区が21年3月完了予定です。

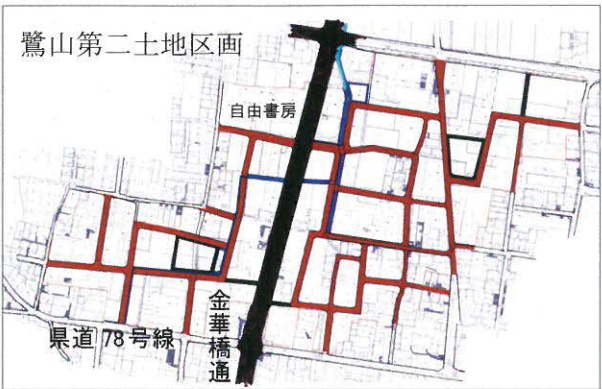
鷺山校区の西部、環状線道路をはさんで、「正木西部地区画」と「正木西部地区画」が進行中です。二つの区画を一つにしたのが下図です。新しい道路で



鷺山・下土居地区は、鷺山小学校の東角から青山中学に向かつて広がる鳥羽川までの地区です。(右図) 田畑が広がる地域でしたが、小学校北側の道路が金華橋通りまで延長し、現在の小学校前の狭い県道の肩替わりになるでしょう。また小学校東の道路が移動、拡張されます。

校区東部の、鷺山第二土地区画は金華橋通りの雨屋、蟬の比較的狭い地域で、生活道路の新設、住環境整備が進行中。平成21年3月終了予定です。

この地区の真ん中、小学校と中学との間に、多様なニーズに対応出来る、岐阜市で四番目の多機能な「拠点保育所」が出来ます。この地区は恵まれた教育環境の新しい住宅地になりそうです。平成24年3月終了予定。



最後に、各区画とも、歴史的意義を踏まえつつ親しみのある、イメージが湧くような地名・住居表示名が付けられることが望まれます。住民みんなで考えてみましょう。

地名の意義

地名研究の目的は、①歴史資料、②言語資料、③姓氏資料の活用にある。①の場合、六条(条里制)、西の庄(荘園)、城の前(中世武士の館、城)などの地名は小字名であり、歴史研究に欠かすことができない。とくに、小字名は地域の歴史を調べて書くこととする時に、大きな手がかりとなる。②の場合、北海道、九州地方の地名には、アイヌ語、古代朝鮮語に関するものが多い。札幌はアイヌ語のサッポロ(洞れた大川)、八幡は渡来人の神(ヤハタ神)に由来する。③の場合、日本人姓氏の約八割が地名に基づいているといわれる。中世の美濃国守護・土岐氏(東濃の土岐郡)などには有名である。「住居表示に関する法律」(一九六二)が出てからは、全国的に町名変更が行われ、緑ヶ丘、平和台、栄町など、歴史の意味を含まない新地名が生れつつある。そういう中で、小字名は消えてゆく現状であるが、歴史研究には重要な意義のあることも再認識したい。(加納 宏幸)



下土居西自治会は鳥羽川の南岸から小学校東北までの広い地域で、70世帯。鳥羽川岸近くに、下土居の村社・若宮八幡神社あり、地元の人の初詣や左義長が行われます。

次に東へ移り、下土居東第一自治会は68世帯、青山中学の西南に広がる地域です。一五二九年創建の浄土真宗本願寺派の由緒ある大きな安養寺があります。左の写真の手前の鐘楼では、毎年除夜の鐘がつかれます。



帯、割合住宅が建て込んでいます。両地区は一部が上土居ですが鷺山小に通い、選挙も今から鷺山で投票になったようです。下土居は戦前大半が田圃で、43戸だったそうで、今は四倍以上になっています。環状線が出来、区画整理でこれから発展しそうです。

地名は、何かの特徴で、人々の間に言い慣わされたものが、知らず知らずのうちに定着化したと言われます。たとえば、金華山の東山麓は、マムシが多く棲息していたから、「マムシ谷」という地名です。鷺山校区の東部に、東・西・南蟬があります。昔、この地域に雑木林があり、そこには数多くの蟬がいて、夏の盛りには大合唱が繰り広げられたでしょう。そのことが同じように「蟬」の地名になったと考えられます。

鷺山小学校東北角から青山中学に向かって拡がる広い地域(右の写真)、鷺山校区の北東部、下土居(一部上土居)の五自治会を訪ねました。昔は下土居村でもあったところで、五つの自治会がまとまって活動されているようで、今回合わせて紹介します。



村社 若宮八幡神社

神社に大人神輿、子供神輿の本神輿が昭和30年代から保管されていましたが、平成13年から「土居睦会」により、毎年四月の道三祭に、子供花神輿三台も合せて担ぎ出されます。大人六十人、子供百人程が参加します。

青山中学のすぐ南の高層Cハイツ青山が下土居青山自治会

下土居公民館は環状線沿い、城之前交差点(ライトオン)前に、平屋六畳二間のこじんまりした公民館です。土居の五つの自治会で運営される、自治会の会合や地元住民の集会に利用されています。

一説には、昔、この地域に「蟬丸」という有名な歌人で、琵琶の名手であった人が庵室を構えて住んでいたため、その名前が地名化したとも言われます。しかし、歴史的には、蟬丸が、この地域に住んでいたという確証はありません。地名の由来も、伝承のはっきりしないものが多いです。(H・K)



地名「蟬丸」の由来

次に東へ移り、下土居東第一自治会は68世帯、青山中学の西南に広がる地域です。一五二九年創建の浄土真宗本願寺派の由緒ある大きな安養寺があります。左の写真の手前の鐘楼では、毎年除夜の鐘がつかれます。

下土居公民館は環状線沿い、城之前交差点(ライトオン)前に、平屋六畳二間のこじんまりした公民館です。土居の五つの自治会で運営される、自治会の会合や地元住民の集会に利用されています。

下土居公民館は環状線沿い、城之前交差点(ライトオン)前に、平屋六畳二間のこじんまりした公民館です。土居の五つの自治会で運営される、自治会の会合や地元住民の集会に利用されています。

下土居公民館は環状線沿い、城之前交差点(ライトオン)前に、平屋六畳二間のこじんまりした公民館です。土居の五つの自治会で運営される、自治会の会合や地元住民の集会に利用されています。

下土居公民館は環状線沿い、城之前交差点(ライトオン)前に、平屋六畳二間のこじんまりした公民館です。土居の五つの自治会で運営される、自治会の会合や地元住民の集会に利用されています。

下土居公民館は環状線沿い、城之前交差点(ライトオン)前に、平屋六畳二間のこじんまりした公民館です。土居の五つの自治会で運営される、自治会の会合や地元住民の集会に利用されています。

昨年の道三祭り

下土居公民館は環状線沿い、城之前交差点(ライトオン)前に、平屋六畳二間のこじんまりした公民館です。土居の五つの自治会で運営される、自治会の会合や地元住民の集会に利用されています。

下土居公民館は環状線沿い、城之前交差点(ライトオン)前に、平屋六畳二間のこじんまりした公民館です。土居の五つの自治会で運営される、自治会の会合や地元住民の集会に利用されています。

下土居公民館は環状線沿い、城之前交差点(ライトオン)前に、平屋六畳二間のこじんまりした公民館です。土居の五つの自治会で運営される、自治会の会合や地元住民の集会に利用されています。

下土居公民館は環状線沿い、城之前交差点(ライトオン)前に、平屋六畳二間のこじんまりした公民館です。土居の五つの自治会で運営される、自治会の会合や地元住民の集会に利用されています。

下土居公民館は環状線沿い、城之前交差点(ライトオン)前に、平屋六畳二間のこじんまりした公民館です。土居の五つの自治会で運営される、自治会の会合や地元住民の集会に利用されています。

下土居公民館は環状線沿い、城之前交差点(ライトオン)前に、平屋六畳二間のこじんまりした公民館です。土居の五つの自治会で運営される、自治会の会合や地元住民の集会に利用されています。

下土居公民館の巻

自治公民館のご案内 ③

下土居公民館は環状線沿い、城之前交差点(ライトオン)前に、平屋六畳二間のこじんまりした公民館です。土居の五つの自治会で運営される、自治会の会合や地元住民の集会に利用されています。

下土居公民館は環状線沿い、城之前交差点(ライトオン)前に、平屋六畳二間のこじんまりした公民館です。土居の五つの自治会で運営される、自治会の会合や地元住民の集会に利用されています。

下土居公民館は環状線沿い、城之前交差点(ライトオン)前に、平屋六畳二間のこじんまりした公民館です。土居の五つの自治会で運営される、自治会の会合や地元住民の集会に利用されています。

下土居公民館は環状線沿い、城之前交差点(ライトオン)前に、平屋六畳二間のこじんまりした公民館です。土居の五つの自治会で運営される、自治会の会合や地元住民の集会に利用されています。

下土居公民館は環状線沿い、城之前交差点(ライトオン)前に、平屋六畳二間のこじんまりした公民館です。土居の五つの自治会で運営される、自治会の会合や地元住民の集会に利用されています。

校区を歩く③ 鷺山本通り商店街

商店街は情報の源、交流の拠点 まちづくりは商店街の活性化から

鷺山本通りの、東は金華橋通りの交差点から西は正木の交差点までの約一・五キロ。かつては、百六十店以上のお店、医院、会社がありました。戦後の21年、清洲町辺りから住宅建設が始まり、堤防を取り崩して鷺山本通りが造られました。



簡易保険局が出来てきました。昭和24年にバスが走り出しました。28年には正木に川島紡績の工場が出来、一時は千人の女子工員が居て、正木の商店街は賑わったそうです。34年には市の鷺山支所が本通に移転。43年末に十六銀行鷺山支店が開店。本通りもこの頃舗装され、川北地区の一大商店街でした。その後歩道も整

備され、街路灯も建て替えられ、現在の姿になりました。しかし昭和63年にマーサ21が出来たこと、後継者難から廃業されるお店が相次ぎ、鷺山商店街振興組合では、百二十六店が三十五店に、正木町発展会は四十店が二十店にと随分減ってしまいました。各々お店には、大型店にはない良さがあります。客と店がお互いに支えつつ、守り立ていきたいものです。



商店街の活性化こそが、住民に住みやすい“まちづくり”の源となるのではないのでしょうか。(M・S)



竪穴式住居跡や祭祀土器が出土

鷺山 正明寺城之前遺跡 現地公開

去る1月15日、鷺山小学校北の正明寺城之前遺跡で現地公開が行われ、百人以上の人が見学しました。同遺跡からは、竪穴式住居跡や、



「水辺の祭祀」と思われる形跡が見つかりました。雨乞いや、洪水を鎮めるために、お祈りする場所だったようです。(S・A)



賑わった遺跡の現地公開 後ろに鷺山

スポーツ、教育、人形劇、出版にスーパーマン

野倉健司さん(鷺山本通二丁目)

93歳でかくしゃくと活躍されている野倉健司さん。



「日本ウニマ功労賞」を背に野倉さん

学生時代にはサッカー部を立ち上げ全国優勝、その後、学校の先生を勤めながら、体操でも全国制覇。岐阜県のサッカー、体操、フォークダンスなど基盤づくりに尽力された。昭和41年、聖徳女子短大で「児童文化」の講義に人形劇を取り入れられ、人形劇の創作、研究に努められました。昭和54年、NHK人形劇に出演。昭和57年、人形劇団

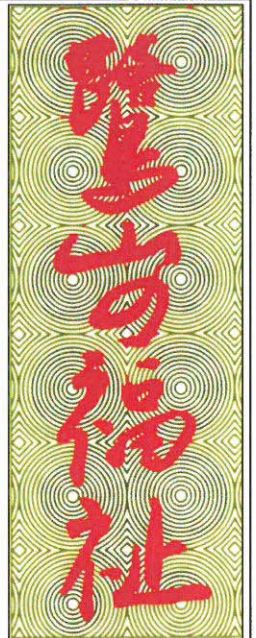
市営バスが消える!

昭和24年から56年間、岐阜市営バスの「一番」で発車した鷺山本通りを通る「長良線」は3月いっぱいまで、緑色のバスは消えます。引続き岐阜バスが営業しますが、ちよっと寂しいですね。上りでも下りに乗っても、柳ヶ瀬や駅へ行けて、倍の本数が走っているように便利です。

民営化で廃止されないよう大いに利用しましょう。



「おっとめ座」創立。昭和59年には米国へ人形劇団を巡回公演。昭和63年には、「ぎふ人形劇をたのしむ会」を設立するなど岐阜における人形劇の普及・育成に尽力。また、平成5年に岐阜人形劇センター設立と同時に会長に就任。受賞歴は、市、県など教育功労者表彰など多数あり、平成15年には、日本で二人目の「日本ウニマ功労賞」を国際人形劇連盟から受けられた。今日も、人形を作り、台本を書き、公演に走ってあられます。



第16号 発行
社福協鷺山支部
☎231-0040

地域とともに「福祉のまちづくり」

岐阜市社会福祉協議会 松野 友子



岐阜市社会福祉協議会
（社協）では、

誰でもが安心して暮らせる「福祉のまちづくり」を目指し、鷺山地域の皆さんと一緒に活動しています。

鷺山校区でも活動の一環として平成15年度から鷺山、正木、清洲、古川、緑ヶ丘の各自治公民館において、としこもり予防、認知症(痴呆症)予防を目的とした「ふれあいサロン」を開催しています。

歌、ゲーム、クイズ、軽い運動等、参加者が楽しめるよう、各サロン内容にも工夫しています。

参加してみたいと思われる方は、日時、場所についての詳

細は各自治会役員の方にお尋ねください。

また、岐阜市社協では、誰もが住んで良かったと思うまちづくりを目指し「地域福祉活動計画」策定を進めています。地域の皆さんの声が、思いが、住みよいまちを作って行きます。

岐阜市社協はこれからも皆さんと一緒に活動し、鷺山福祉のまちづくりを進めていきますので宜しくお願い致します。

（松野さんは、地域活動コーディネーター、介護支援専門員、介護福祉士として、鷺山校区を担当していただき、ご支援いただいています）

ウォーキングで健康づくり

自由なクラブ 鷺山ウォーキングクラブ

「鷺山ウォーキングクラブ」

は、発足して八年。会員は約40名。(男性2人、女性38名)男子会員が少ないのが残念ですが、平均年齢約65才で、会員の殆んどが夫婦二人暮らしの主婦です。月、水、金の週三回、朝九時より一時間、岐阜メモリアルセンター内で、約4キロを歩きます。入念な準備体操とストレッチを行い、各自その日の体調に合せ、距離、スピードは自分で決めます。マナーを防ぎ、楽しくウォーキングする為に、月二回位の割合



ウォーキングクラブの皆さん メモリアルで

で、メモリアルから外にも出ます。この為全員が傷害保険に加入しています。時には梅

若水会「新春お笑いの落語寄席」開催

若水町老人クラブ「若水会」(十屋会長)では、第八回鷺山ペタンク大会(H16・11・29)優勝記念として「新春お笑い落語寄席」を、雪が降り今冬一番の冷え込みとなった1月11日、若水公民館で約30名の参加を得て行いました。

10時半、岐経大落研OB等の出演による寄席を開幕。

一席「世相を斬る」経大亭勝笑、二席落語「子ほめ」啄木亭遊太、三席「息子の結婚」経大亭勝笑の話に、参加者皆、大拍手と爆笑のうず。勝笑さんと参加者のやりとり漫談におひねりも飛び交う中11時半に終了。その後お寿司と温かいお茶で「ふれあいと笑いと健康」をテーマにした初春の若水会



若水会新春お笑い寄席 若水公民館で

の第一歩でした。

林公園、岐阜公園、金華山、三田洞弘法、小紅の渡しや、遠くは、バスのツアーで上高地、立山等へも出かけます。今、正に高齢社会の入口にいます。人に迷惑をかけず生活していくには、健康であることです。健康作りの第一は「歩く」こと、それを「継続」する事だと信じ、今日も歩き続けています。入会、退会も自由で、何の拘束もなし。大人の集団であり、強要もしないし、されない。又、無理もしない、総て自己管理を行っています。

参加ご希望の方は月水金の朝9時メモリアル本館前へどうぞ。(河合輝久)

明るく、若返って・・・ふれあいサロンに出席して

投稿

「今日25日はふれあいサロンの日やね」と朝からそわそわ皆誘って行こう。今回はどんな催しがあるのかしら。楽しみに待った日が来た。

入り口でお菓子を頂き会場へ、同じ地区に住んで居ても滅多に逢わぬ人。三年も逢わなかった様に喜び手を握り会う人も居りました。

見た目で勝負、転ばぬ先の杖、筋肉アップ、体が固くなる、チヨコチヨコ歩き、日頃使わないところを伸ばす、大きな声を出す、ラジオ体操や背伸びを一日一回すると良い、寝巻きは必ず着けて寝る等老人の私たちには分かり易く、楽しく面白く話をして頂き頷くことばかりでした。どれだけ守れていたかと反省です。

「マフソンと私の人生」山田三郎さんの話に感激し、偉大な人の居られることも知りました。民謡、三味線、唄など私達の近くにこんな素晴らしい人の居られることを誇らしく思いました。次回回は私達も唄ってみました。いわねと囁く人も居りました。



霧囲気が良くなり拍手が響きかけ声も飛び出し皆さんの顔がだんだんと明るくほころび若返ってきます。最後に皆で大声を出して黒田節の合唱、満足そうでした。万遍なく賞品を頂いたビンゴゲームお土産が出来たと皆喜んでました。心籠もった湯茶の接待も有難うございました。後になつて申し訳ありません。此の会の開催について種々お骨折りにして頂いたことが目に見える様でございます。心よりお礼申し上げます。皆が元気で次回のこの催しに会えますことを心からお待ちして止みません。(正木二丁目 中野 民子)

防災アンケート あなたは大丈夫ですか？

～清洲町 高齢者意識調査から～

昨年11月12日清洲公民館にて行われた「清洲地区ふれあいサロン」に出席された老人会や独居の方を中心に高齢の方々に防災に関するアンケートをお願いしました。その結果は以下の通りです。なお、約100名の方をお願いし、83名の方に回答を頂きました。回答率は83%です。(Y・N)

- | | | | |
|-----------------------------|-----------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1. 地震について日頃 | (イ) 良く気にかけている 50人 60% | (ロ) 時々気にする 33人 40% | (ハ) 殆ど気にしていない なし 0% |
| 2. 地震が発生したとき | (イ) 暫くじっとしている 57人 68% | (ロ) すぐに机などの下に身を寄せる 23人 38% | (ハ) すぐに外に出る 3人 4% |
| 3. 地震に備えて家具の配置や家屋の危険箇所のチェック | (イ) すでにしてある 12人 15% | (ロ) 一部してある 34人 41% | (ハ) していない 31人 37% |
| 4. 災害時の避難場所は | (イ) すでに決めている 52人 63% | (ロ) 今探している 25人 30% | (ハ) 近くに場所が無くて困っている 6人 7% |
| 5. 一人で避難できますか | (イ) できる 34人 46% | (ロ) 何とかできる 38人 46% | (ハ) 一人では無理なので手助けが欲しい 7人 8% |
| 6. 隣近所で助け合いができますか | (イ) できる 34人 41% | (ロ) その時にならないと判らない 45人 54% | (ハ) できないと思う 4人 5% |
| 7. 日頃から隣近所の親しいお付き合いがありますか | (イ) ある 62人 75% | (ロ) 時々ある 20人 24% | (ハ) めったにない 1人 1% |
| 8. 毎年の自主防災訓練に参加されますか | (イ) 参加している 44人 53% | (ロ) 時々参加する 28人 34% | (ハ) 参加したことがない 11人 13% |
| 9. 防災についての案内 | (イ) 時々あれば有難い 65人 78% | (ロ) 別になくても 18人 22% | (ロ) 違いが判らない 29人 35% |
| 10. 避難勧告、避難指示の違いがわかりますか | (イ) 理解している 54人 65% | | |

以上の結果で
①地震に対する関心度は高く、初期行動も良く理解されており安心である。
②家具の配置、家屋の点検は半数の方が未点検であり、中には自分ではできず支援を求めて居られる方もある。
③避難をするのに一人ではできない方があり、避難場所をまだ決められずに居られる方が約40%もある。近くに場所のない方も
④日頃は親しくされて居られても、災害時に助け合うことには約60%の方が不安に感じている。
⑤防災情報は約80%の方が望んで居り、日頃の防災に対する広報の発信が必要と思われる。

以上から、自治会および自主防災隊として、何ができるかを考えることが大切と思われます。

確認しよう地震対策

1月9日午後7時頃“ドーン”という音とグラツと来た揺れに驚かれたと思います。

愛知県西部を震源とする岐阜で震度3の直下型地震でした。昨秋新潟県をおそった中越地震もこのタイプです。直下型地震は活断層の活動が原因と言われています。

1月13日の新聞では岐阜市に近い活断層である濃尾断層帯(濃尾大地震を起こした根尾谷断層を含む)の地震が起きる確率は30年以内では0%であると報道されました。これで大きな直下型地震

から逃れたらと思っははいけません。

岐阜県にはまだ多くの活断層があります(左図・岐阜県内にある主な活断層参照)。これらの多くの活断層の30年以内の地震発生確率は0%ではないのです。

また、本誌2号で紹介した東海・東南海地震は、昨年暮れ大被害をもたらしたスマトラ沖地震と同じタイプでプレート間地震(海溝型地震)と言います。

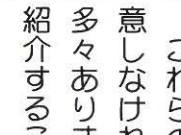
プレート間地震はプレートとプレートがぶつかる

ところに起き、それが海中ならば津波が発生します。岐阜は海から遠いので津波の心配はないのですが、震度5強の揺れになると言われています。

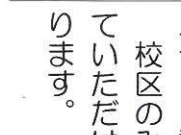
地震は最初持ち上げられるように縦に揺れ、しばらく



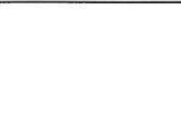
①地震が発生し、揺れが大きく危険を感じたらあわてずテーブルや机の



④地震直後は誤った情報のため混乱する場合があります。携帯ラジオなどで正しい情報を入ります。



③家や家具が倒壊の危険があるとき、火災が発生し初期消火が難しいときには直ちに避難する。避難指示が出たときはそれに従って行動する。



②揺れがおさまったらガス、ストーブなどの火の始末をし、電気のブレーカーを切り、脱出口を確保する。

下身を隠すなどして、自分の身を守り、あわてて外に飛び出さない。

1月9日の地震は縦揺れを感じたが横揺れは感じなかったと思います。これは震源までの距離が短いので、縦と横での距離が短いため、縦と横の揺れがほぼ同時に来たためです。東海・東南海地震では震源までの距離が遠いので縦揺れと横揺れとの間の時間が長くなると言います。

地震の揺れ方は地震の種類、強さ、震源との距離などによって異なりますが、地震対策は一緒です。その対策をもう一度確認しましょう。

岐阜市の「防災読本」(地震からわが家・わが町を守る防止マニュアル)から地震直後に取るべき行動を紹介しています。

これらのごと以外にも、注意しなければならぬことが多々あります。次号以降順次紹介することにしていきます。

「ふれあい鷲山」は住みよいまちづくりを目指すコミュニティ誌です。

校区のみなさんの手で育てていただけることを願っています。(丁)

原稿をお願いしている方も専任でご協力いただいております。もちろん、編集から入力まで、携わっている者もボランティア、配布は自治会の皆さんのご協力をいただいております。印刷費だけで発行しています。

本誌は、校区内の百ヶ所以上のお店、公民館、コミセン、市役所、まちづくりセンター、ボランティアセンター等々にも置いていただいております。

年度内に予定より一回多く発行することが出来ました。しかし、発行三号で中断、没ということは世間ではよくあることで、本誌は如何でしょうか。市からの補助金の確保と校区内の皆さんからのご支援がたよりです。

編集後記